

日刊建設工業新聞

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2012 年105-0021 東京都港区東新橋2-2-10

新聞社

03
den.co.jp
03
den.co.jp
03
den.co.jp
03
den.co.jp
03
den.co.jp

設計事務所の上高ラン
キングでは、集合住宅部門
で常に上位をキープしてき
た。しかし、人口減少時代
に入り、住宅市場もこれか
らは石の上上がりとはいきそ
うにない。そうした状況を
冷静に見据え、実績を重ね
つつある福祉分野のほか、
新分野参入への布石も打っ
ていく。

——就任の抱負を。

——創業から36年間、竹田
秀道代表取締役会長や私た
ち創業メンバーが事務所を
けん引してきたが、第2世
代の社員により良い体制を
築いてもらうための基盤づ
くりと、創業期の総仕上げ
が私の役目だと思ってい
る。「行動に移るものはな
し」であり、社員の先頭に

かなみね

しょうだい

IAO竹田設計

金峰

鐘大氏

新社長



第2世代に引き継ぐ成長基盤構築

立って走っていききたい」

——経営状況は。

「バブル経済崩壊の時点

で約80人だった社員数も、
今や200人近くにまでな
った。当社は総合建築設計

事務所だが、不況時の景気
刺激策として住宅建設が推
進されたのを背景に主力分
野のマンション設計に力を
入れ、会社を成長させてき
た。2年前には集合住宅分
野の設計売上高ランキング
で日本一にもなった」

「そうした市場環境を考
慮し、事業のもう一つの柱
として育ててきたのが福祉
施設だ。参入から20年ほど
がたつ。マンションに比べ
ることができる成長させたい。

10人の社員を転籍させ、業
務に専念させる」

市場環境をどう見て
いる。

「マンションは、良い作
品を提案できれば次の案件
につながるってきたが、市場
縮小で過酷な競争が生じて
いる。一定の事業量は見込
めるにしても、従来のよう
なペースでマンション建設
が続くとは考えられない」

「中国に進出している。
東雲建築設計」は順調に実
績を伸ばし、子会社の「竹
田建築設計諮詢(上海)」も
着実に受注を重ねている。
日本企業の案件に貢献する
とともに、福祉プロジェクトにも進出した。 (5月1日就任)

三重県立伊勢工業高校卒、67年4月三都
建築事務所入社。71年井上友雄建築設計事
務所に入社し、76年10月IAO竹田設計室
(現IAO竹田設計)の設立に参加。三重
県出身、63歳。
人間関係も建築作品も「人に優しい」を
モットーとする。

「4月1日に子会社のI
AOプランニングを「IA
Oプランニング&デザイ
ン」に改称し、あらゆる建
築や都市計画などに関する
トにも進出した。 (5月1日就任)